広報あくね　2025年2月号（2月14日発行）/ 通巻第937号

阿久根

帰ってきたくなる　行ってみたくなる
東シナ海の宝のまち

これから先も自分らしく

2

2025 No.937

Photo 風テラスあくね 二十歳のつどい

主な記事

大川出張所・大川地区公民館が移転しました・・・・・・・・・10
物価高騰に対する支援給付金を支給します・・・・・・・・・・11
子宮頸がん予防接種の期間が条件付きで延長されます・・・・・11
新型コロナウイルス感染症予防接種の公費助成期間が終了します・11
阿久根市交通災害共済に加入しませんか？・・・・・・・・・・14
民間による患者搬送サービス 患者等搬送事業者を認定しています・16

令和7年 阿久根市 二十歳のつどい

1月4日、風テラスあくねで20歳となった方々を祝う「二十歳のつどい」が開催されました。

当日は、朝から冷え込む天気となりましたが、それに負けないくらい20歳の皆さんの熱気であふれかえっていました。本市で令和6年度に満20歳となる方は193人、会場にはそのうちの134人が参加しました。

式典では、二十歳のつどい実行委員長の牛堀杏香（きょうか）さんが「こうして私たちが毎日を過ごせているのは、友人や家族など、周りにいるたくさんの方々のおかげです。この先続いていく人生でも、日々感謝の気持ちを忘れず、周りの人と手を取り合って乗り越えていきたいと思います」と感謝と決意を述べました。

輝かしい未来へ

実行委員メンバー紹介 & 二十歳の目標

実行委員長
牛堀杏香（きょうか）さん

私の二十歳の目標は、教師になるため日々勉強を怠らないということです。実習や試験など忙しくなりますが、一つ一つ着実にこなし周りから学べるものは学び、日々成長していけるような二十歳にしていきたいと思います。

全体進行
新町 織翔（おりと）さん

私の二十歳の目標は、かっこいい大人になる事です。毎日笑顔で精一杯仕事を頑張り、休日は友人と思いっきり遊び沢山の思い出を作っていきたいと思います！

全体進行
尻無濱 桃佳（ももか）さん

二十歳になり、また一つの節目を迎えました。私は、地元の建設会社で中学生からの夢であった現場管理の仕事を行っており、充実した毎日を過ごしております。仕事でも、私生活でも大人の自覚を再度持ち礼儀正しい大人になりたいと思います。

市民憲章唱和
末田 莉子（りこ）さん

「新社会
年にする
お仕事を
ですが、
イベート
の為になる
切にした

脇本小・鶴川内小校区

阿久根小校区Ａ

折多小・大川小・田代小・
西目小・山下小・尾崎小校区

阿久根小校区Ｂ

20年前のいま…

文化・芸能	日本の歌舞伎が世界無形文化遺産に登録されることが決定
スポーツ	プロ野球史上初となるセ・パ交流戦が開幕
流行語大賞	「小泉劇場」・「フォーー！」・「クールビズ」　など

また、アトラクションでは、音楽家の志野文音（あやね）さんの演奏や「思い出のアルバム」として、中学生時代の写真のスライドショーも行われ、スクリーンを見つめる出席者からは懐かしい思い出の数々に、笑顔がこぼれていました。

意見発表
福永 綾音（あやね）さん

18歳で就職して大阪に行ってから一人暮らしだったので怪我、病気にかなり気を付けてきました。無事二十歳を迎えられたのでこれからも体調に気を付けて頑張っていきたいです。

意見発表
森田 凛（りん）さん

社会人になり、家族や同僚など周りで支えてくれる方々のありがたさや大切さを学びました。人に優しく、困っていたり、悩んでいる人がいたら声をかけてあげられるような人になります！

記念品贈呈
倉村 姫叶（ひめか）さん

頼るだけでなく、頼られる存在になりたいです。仕事で問題が起きた際、先輩方によく頼ってしまう部分があります。そのため、今自分に足りない物は何か理解し、毎日目標を決めて行動していくよう努めていきたいです。

記念品受領
丸尾 泰葉（やすは）さん

看護師国家試験に合格し、患者様やご家族の方々に必要とされる優しい看護師になりたいです。
一人暮らしも頑張ります。

私の二十歳の目標は人として充実した1こと」です。まずは覚え経験を積むこと睡眠や食生活、プラなども含めて自分の生活を送ることを大いです。

令和7年 消防出初式

新春恒例の消防出初式が1月12日、風テラスあくねで執り行われました。

今年は、あいにくの雨模様となり式典は屋内での開催となりました。早朝から集まった各分団の団員が、川畑行雄（ゆきお）団長の指揮のもとに集結し、新年の防火防災への決意を新たにしました。

また、冷たい雨が降る中、団員たちは市中・分列行進や放水演習を力強く披露し、見物客を魅了しました。

現在阿久根市では、２０５人の方が団員として、仕事を持ちながら、地域住民の安心・安全を守るために、消防団活動に従事しています。

表彰式では、功績があった団員や長年にわたり消防団活動にご尽力いただいた企業の方などに対して、次のとおり表彰が行われました。

市長表彰

▽企業感謝状

株式会社かりやぞの

▽優良分団表彰

大川分団
鶴川内分団
山下分団

団長表彰

▽優秀班表彰

鶴川内分団鶴川内班
大川分団大川班

▽優良班表彰

大川分団尻無班
山下分団尾崎班
大川分団牛之浜班

火災・災害のない一年を願い――。

消防団の最高栄誉章
「まとい」
（令和４年３月に受章）

消防庁長官表彰（伝達）

▽消防団員退職者 第1号報償（勤続25年以上）

花田 博（元大川分団大川第1班）

▽消防団員退職者 第2号報償（勤続15年以上25年未満）

津田 優隆（元折多分団折口班）
餅越 和幸（元山下分団弓木野班）
宮路 崇世（元折多分団多田班）
田淵 洋一（元三笠分団三笠第2班）
外戸口 幸敏（元三笠分団黒之瀬戸班）

日本消防協会会長表彰（伝達）※令和6年2月1日現在

▽勤続章（勤続30年以上）

中尾 隆樹（鶴川内分団鶴川内班）

▽消防団員家族表彰

中村 昭雄（大川分団）
中村のぶ子（団本部女性消防隊）
中村 大地（大川分団大川第1班）

鹿児島県消防協会総裁表彰（伝達）※令和6年3月31日現在

▽功績章（勤続20年以上）

鍋藤 雄太（中央分団積載班）
園川 憲志（三笠分団瀬之浦班）
和田 宏之（三笠分団黒之瀬戸班）
栗林 靖浩（鶴川内分団鶴川内班）
津田 優隆（折多分団折口班）
塩鶴 辰也（山下分団山下班）
川﨑 徹志（山下分団尾崎班）

▽精績章（勤続15年以上）

青木 優（折多分団多田班）
千年原 政利（三笠分団三笠第2班）
川畑 輝薫（中央分団車両第1班）
中野 優秀（大川分団大川第2班）
本村 淳一（鶴川内分団鶴川内班）
柏木 清彦（鶴川内分団鶴川内班）

鹿児島県消防協会出水支部長表彰 ※令和7年3月31日現在

▽永年勤続章（勤続15年以上）

神之田 光（大川分団牛之浜班）
西村 諭孝（三笠分団黒之瀬戸班）
竹原 一重（三笠分団黒之瀬戸班）
池田 貴博（鶴川内分団田代班）
春田 和昭（折多分団多田班）

▽優良団員表彰（勤続10年以上）

濵邊 光夫（三笠分団黒之浜班）
川畑 純也（大川分団大川第2班）
園田 健（三笠分団三笠第1班）
花田 利博（大川分団大川第2班）
堀切 栄作（折多分団折口班）

鹿児島県知事表彰（伝達）※令和6年3月31日現在

▽勤続章（勤続10年）

松下 亮一（赤瀬川分団）
大瀧 貢奨（三笠分団黒之瀬戸班）
川崎 善夫（折多分団折口班）
小田 真一（山下分団山下班）
立石 敦子（団本部女性消防隊）
青龍 昇也（中央分団車両第1班）
川原 裕司（中央分団車両第1班）
岩切 達也（中央分団車両第2班）
遠矢 海里（中央分団積載班）
川﨑 猛（三笠分団三笠第1班）
仮屋園 健一（三笠分団古里班）
大瀧 良生（三笠分団黒之瀬戸班）

団長表彰 ※令和7年3月31日現在

▽勤続章（勤続10年）

濵邊 光夫（三笠分団黒之浜班）
川畑 純也（大川分団大川第2班）
園田 健（三笠分団三笠第1班）
花田 利博（大川分団大川第2班）
堀切 栄作（折多分団折口班）

INTERVIEW ｜ 鶴川内分団　分団長　中尾 隆樹（たかき）さん

令和６年４月から阿久根市消防団鶴川内分団の分団長を務めている中尾さん。普段は阿久根市役所に勤務し、行政マンとして公務を行う傍ら、若い頃から消防団員としても活動し、今年で入団 31 年目を迎えました。勤続 30 年を超えるベテランの中尾さんに鶴川内分団の活動について聞きました。

消防団は若い方の力を必要としています。
地域の安心・安全を守るため、
一緒に活動しませんか。

◆活動内容について

鶴川内分団は、鶴川内班、桑原城班、田代班の３班 24 人体制が定員ですが、現在４人欠員となっています。年齢は下は 30 歳、上は 60 歳と幅がありますが、年齢の垣根を超えて活動しています。

鶴川内分団の普段の活動は、班ごとで、毎月１日と 16 日の 19 時に集まり、消防自動車で防火宣伝活動や機械器具の点検を行っています。

地域には高齢の方も多く、近年は地元から火災が発生することが多くなっているので、宣伝活動などを通して、普段から火災を発生させないことへの意識付けを行うことが重要だと考えています。

◆消防団の魅力・やりがいについて

日頃の訓練や活動の中で、団員自ら考え行動し、団員同士で意見を出し合うことで、年齢や職業の違いを超えて切磋琢磨でき、団員それぞれが日頃の仕事以外でも、さまざまな経験を積むことができることが魅力だと思います。

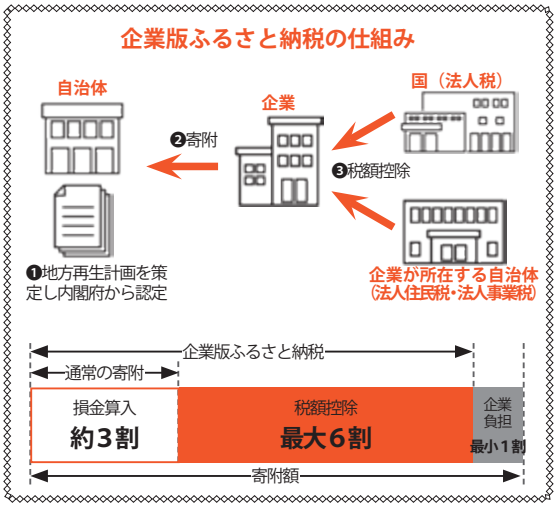
また、活動を通して、同じ班・分団の仲間だけでなく、地域内外の多くの方と知り合う機会でもあり、そのつながりは自らの仕事や地域活動にも役立っています。

地域の方から声をかけていただいたり、頼りにされることもあり、良かったと思えることも多いです。

消防団員募集中！

消防団への入団に関するお問い合わせは
阿久根市総務課消防係（☎ 72-0134）まで

鹿児島トヨタ自動車(株)企業版ふるさと納税目録及び感謝状贈呈式
企業版ふるさと納税で本市に寄附



鹿児島トヨタ自動車株式会社から阿久根市に対し、企業版ふるさと納税の寄附の申し出があり、1月9日に阿久根市役所で寄附目録と感謝状の贈呈式が行われました。

企業版ふるさと納税は、地方公共団体が行う地方創生の取り組みに対し、企業が寄附を行った場合、法人関係税を税額控除できる仕組みで、損金算入による軽減効果と合わせて、最大で寄附額の約9割が軽減され、企業の実質的な負担が約1割まで圧縮されます。

同社は、創立80年を超える歴史ある県内企業で、自動車販売などを通して、地域の方々の移動の自由を実現するため、多角的な事業展開を行っています。

贈呈式では、同社の柳園久志（ひさし）代表取締役社長が「この取り組みが企業と地域が共に手を携え、新しい未来をつくり出すきっかけになることを期待します」とあいさつしました。

市では、今回の寄附金を、地域公共交通の維持確保に向けた取り組みに活用していくこととしています。

(株)ロックスとの教育支援に関する連携協定締結式
本市2例目の民間出資の給付型奨学金

市では、1月30日に株式会社ロックスと「教育支援に関する連携協定」を締結しました。

株式会社ロックスは、浄化槽清掃業、ホテル、結婚式場を営む地元企業で、グループ企業には運送事業があります。

この協定は、次世代を担う子どもたちが意欲をもって学業に励むことができるよう支援を行い、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育むことを目的としています。

この協定に基づき、市と同社が情報の共有などを通じて互いに連携し、本市奨学金制度の採用者の中から、同社による給付型奨学金が支給されるものです。

同社の田原秀一（しゅういち）代表取締役は「阿久根市に育てていただいた企業として恩返しがしたい。阿久根市の子どもが将来世界に羽ばたける一助になれば嬉しいです」とあいさつしました。

教育支援に関する連携協定の締結は昨年度の株式会社タハラ運送に続き2例目となります。

今回創設された奨学金の内容

市で実施している阿久根市奨学金貸付基金制度または濵風ゆめみらい奨学金貸付基金制度を活用する奨学生の中から、連携協定を締結した事業者が毎年１人を選定し、１人当たり年間12万円を就学する学校の年数に応じて給付します。（入学から４年間を限度とします。）

問　教育委員会　教育総務課　☎73-1257

B&G財団「子ども第三の居場所」事業
阿久根拠点「めぐみの居場所」完成

▲屋外と室内の中間のような、大きい屋根が低い位置までせり出した空間

▲楽しく過ごせるよう工夫された空間

▲協定書を取り交わす西平市長とB&G財団の菅原悟志（さとし）理事長

公益財団法人B&G財団の事業「子ども第三の居場所」プロジェクトの阿久根拠点「めぐみの居場所」が完成し、1月29日に同所で協定書の調印式が行われました。

このプロジェクトは子ども達の安心安全な居場所づくりを目的としたもので、阿久根拠点「めぐみの居場所」は、学校法人めぐみ学園が運営を行います。また、この協定により、運営に際しては、開設費と今後3年間の運営費をB&G財団が助成し、4年目以降は市が継続的に運営費の助成を行っていきます。

利用対象は、市内の6歳から18歳までの家庭や学校以外の居場所が必要な児童や生徒で、市や学校など関係機関と情報共有を図りながら、利用につなげていきます。

同所では、安全安心な居場所の提供とともに、学習支援、生活支援などを一人一人のニーズに合わせて行い、将来の活動の自立につなげていくため、子ども達が居心地の良いと感じる居場所づくりを目指していくこととしています。

令和6年度電源立地地域対策交付金を活用
消防団小型動力ポンプを2台更新

市では、令和6年度電源立地地域対策交付金を活用して、三笠分団桐野班と三笠分団黒之浜班の小型動力ポンプの更新を行いました。

今回、更新・配備された小型動力ポンプは、これまでのポンプと比べると軽量化されており、現場活動時の団員の負担軽減が図られます。また、消火活動のみならず浸水時の排水対応なども可能な仕様となっており、地域防災力の向上が期待されます。

韓国の原州高校野球部が市内でスポーツ合宿実施
海外からのスポーツ合宿を歓迎

韓国の原州（ウォンジュ）高校硬式野球部の選手・指導者45人が、1月8日から1月31日まで阿久根市で野球合宿を行いました。

原州高校は江原（カンウォン）特別自治道南部の原州市の高校で、プロ野球選手も多く輩出する野球強豪校です。

1月8日には、歓迎セレモニーを開催し、市長をはじめ、商工会議所副会頭、宿泊施設代表者や市スポーツ協会関係者などが出席し、合宿実施への感謝と、合宿の成功を祈る激励を行いました。

阿久根地域づくり事業協同組合　認定証交付式

県の認定を受け派遣事業開始

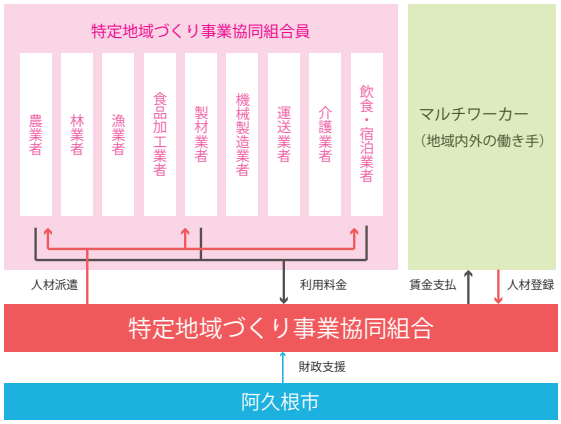
10月に設立された「阿久根地域づくり事業協同組合」が、特定地域づくり事業協同組合として県から認定され、1月14日に北薩地域振興局で認定証交付式がありました。

同組合は、地域の安定した雇用環境、地域づくり人材の確保、若者の移住定住の推進などを目的として、市内4事業所が発起人として創立されました。

同組合では、派遣職員の募集を開始しており、4月から派遣事業の開始を予定しています。

特定地域づくり事業協同組合とは？

地域産業の担い手を確保するために、マルチワーカー（季節毎の労働需要などに応じて複数の事業者に従事）の労働派遣事業を行う組合のことです。組合は組合員となった事業者に対し人材派遣を行います。市は、設立認定された組合に対し、財政支援を行います。



▲特定地域づくり事業協同組合の概要イメージ

「to the Next」～次に向かって～
「for the Next」～次のために～

西平良将市長の主な活動

1月

市ホームページもご覧ください。

阿久根市 市長の活動報告　検索

1月	活　動　内　容
4日	北さつま漁業協同組合「初市の式」
	令和７年阿久根市二十歳のつどい
7日	令和６年度第１回鹿児島県市長会理事会（鹿児島市）
	令和７年観光関係者新年互礼会（鹿児島市）
	阿久根商工会議所新春懇談会
8日	韓国原州（ウォンジュ）高校野球部歓迎セレモニー
9日	鹿児島トヨタ自動車株式会社企業版ふるさと納税目録および感謝状贈呈式
12日	令和７年阿久根市消防出初式
14日	阿久根地域づくり事業協同組合認定証交付式（薩摩川内市）
	薩摩國広域輸出促進協議会バイヤー招へいおよび産地視察商談会（薩摩川内市）
16日	令和６年度第49回グラウンド・ゴルフ新春大会
	阿久根市民生委員・児童委員協議会情報交換会
17日	薩摩おいどんリーグ2025記者会見（鹿児島市）
18日	防衛協力諸団体合同賀詞交歓会（鹿児島市）
19日	第32回阿久根市女性大会
20日	駅前通り会恵比寿祭り
22日	総務省特別交付税要望活動（東京都千代田区）
	第17回「Ｂ＆Ｇ全国サミット」（東京都中央区）
23日	第２回阿久根市長杯グラウンド・ゴルフ大会
27日	令和６年度第２回国保運営協議会
28日	阿久根建友会新年会
29日	「子ども第三の居場所」事業実施に関する協定書調印式および「めぐみの居場所」の施設内覧会
30日	株式会社ロックスとの教育支援に関する連携協定締結式
	令和６年度「鹿児島の夕べ」（東京都渋谷区）

関連 1月22日

令和６年度実施事業の充当財源となる特別交付税の要望活動

1月22日、西平市長と福島副市長が総務省を訪問し、地方特別交付税の要望活動を行いました。

大臣官房の原総務審議官、自治財政局の須藤官房審議官（財政制度・財務担当）、神門（ごうど）財政課長らと面会し、令和６年度実施事業の概要や財政状況などを説明し、特別交付税措置の要望をしました。

特別交付税は、地方交付税（普通・特別の２種類）のうち、災害や地域特有の事業などを対象に分配される財源で、総額（地方交付税総額の６％）も決まっており、総務省の査定を経て、自治体への配分が決定されます。

※地方交付税の総額は、所得税・法人税の33.1%、酒税の50%、消費税の19.5%、地方法人税の全額とされています。

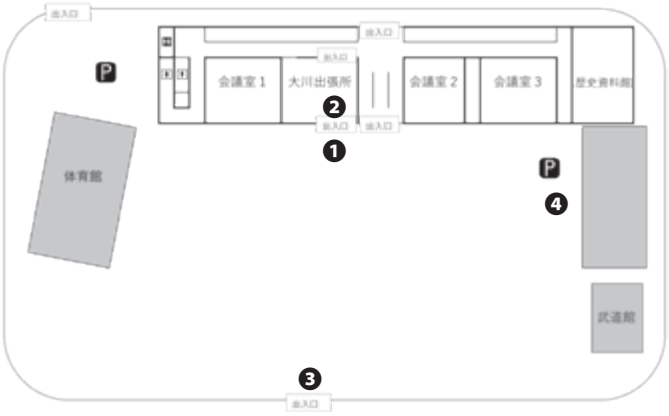
大川出張所・大川地区公民館が移転しました

問 大川出張所 ☎74-0001

大川地区公民館の施設の老朽化の解消と機能の充実を図るため、旧大川中学校南棟1階に移転しました。今後、避難所についても当館に開設します。

◆大川出張所の主な業務

戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑証明及び市税等の諸証明の発行やはり・きゅう券交付など



◆大川地区公民館の施設使用料・冷暖房使用料

施設名	9～12時	12～17時	17～22時	冷暖房使用料（1時間につき）
会議室1・2・3共通	180円	270円	550円	100円

納税通知書等送付用封筒への有料広告を募集します

問 税務課 課税係 ☎73-1203

◆募集期間 2月10日(月)～3月10日(月)

◆掲載する封筒の枚数 55,000枚（予定）

◆広告掲載料 1枠 11万円 ※上限2枠

◆掲載時期 令和7年6月～（予定）

◆申し込み方法など

広告の掲載を希望する方は、税務課に備えてある申請書に封筒広告掲載枠等希望書および広告の原稿案を添えて、税務課へ提出してください。審査の上、掲載の可否をお知らせします。

掲載に適すると認められる広告が広告枠の数を超えるときは、抽選により掲載を決定します。

表面

裏面

◆規格
1枠 縦63mm
横92mm

◆掲載できない広告

法令などに違反するもの、市の公共性、中立性および品位を損なうおそれがあるもの、政治・宗教活動、意見広告または個人の宣伝に関するもの、風俗営業またはこれに類するもの、公序良俗に反するものなどは掲載できません。

◆その他

広告には、広告の掲載が市の財源を確保するための取り組みであることを周知するため、右の表示をします。

・この広告は、阿久根市の行財政改革の一環として掲載しているものです。
・広告収入は、阿久根市の歳入に組み入れられています。
・広告の内容については、直接広告主にお問い合わせください。

子宮頸がん予防接種の期間が条件付きで延長されます

問　こども保健課　保健予防係　☎73-1228

キャッチアップ接種対象者と平成20年度生まれの女性の無料接種（公費負担）の期限は、令和７年３月31日までですが、接種を希望される方が接種機会を逃さないよう、**対象者のうち条件を満たす方**については、規定接種回数（３回）の不足回数の接種を無料で受けられる期限が、**令和８年３月31日まで延長**されます。詳しくは市こども保健課へお問い合わせください。

条件を満たす方　①②の両方を満たす方

①平成９年４月２日～平成21年４月１日生まれの女性
②令和４年４月１日～令和７年３月31日の間に１回以上接種された方

◆条件付きで延長される無料接種期間

令和８年３月31日火まで

◆場　　所　予防接種実施協力医療機関

※ 子宮頸がん予防ワクチンは６カ月かけて計３回の接種を受ける必要があります。

※ 令和４年３月31日以前に接種し、その後接種歴のない方は延長の対象となりません。

新型コロナウイルス感染症予防接種の公費助成期間が終了します

問　こども保健課　保健予防係　☎73-1228

新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい年代の方を対象に、令和６年10月から定期接種として新型コロナウイルス感染症予防接種を実施しています。

市の助成が受けられるのは令和７年３月31日までですので、まだ接種がお済みでない方で接種を希望される場合は、お早目の接種をご検討ください。

助成対象者　いずれかを満たす方

▶65歳以上の方
▶60～64歳で身体障害者手帳１級（心臓、腎臓、呼吸器、免疫疾患での交付に限る）をお持ちの方

◆実施期間　**令和７年３月31日月まで**

◆接種回数　１回　　**◆接種費用**　2,100円

◆場　　所　予防接種実施協力医療機関

※ 予診票は令和６年９月に対象者に発送しております。再発行を希望する方はこども保健課までお問い合わせください。

物価高騰に対する支援給付金を支給します

問　福祉課　福祉係　☎73-1240

［物価高騰対策給付金］

物価高騰による負担増を踏まえ、令和６年度住民税均等割が非課税である世帯に対して、支援給付金を給付します。

◆支給額　１世帯あたり３万円

対象世帯

令和６年12月13日時点で阿久根市に住民登録があり、世帯全員が令和６年度住民税均等割が非課税である世帯。

※世帯全員が「住民税が課税されている方」に扶養されている世帯、他の自治体で同様の給付を受けている世帯などは対象外となります。

支給手続き

対象世帯に確認書を送付しています。必要事項を記入のうえ、同封しました返信用封筒による郵送か福祉課福祉係（７番窓口）にご提出ください。

◆提出期限　**５月30日金まで**

上記世帯のうち高校生以下の子どもがいる世帯は加算給付を支給します

物価高騰による負担増を踏まえ、対象世帯への給付の加算（子ども加算）を支給します。

◆加算額　子ども1人あたり２万円

支給対象者

令和６年度住民税非課税世帯に平成18年４月２日以降に出生した児童がいる世帯

支給手続き

物価高騰対策給付金の給付金申請手続きが完了した世帯に対し、支給決定のお知らせを順次発送します。通知を受けた方は、申請手続きは必要ありませんが、令和６年12月14日以降に生まれた新生児がいる世帯や、別世帯に扶養している子どもがいる場合は申請が必要ですので、福祉課福祉係までご連絡ください。

参加費無料

里親制度説明会を開催します

問 福祉課　児童福祉係　☎73-1248

里親とは、さまざまな事情により家族と暮らすことのできない子どもを家族の一員として家庭に迎え入れ、愛情を込めて養育してくださる方です。

子どもが明るく健やかに生活していくためには温かい家庭が大切です。子どもの養育に理解と熱意、豊かな愛情をお持ちの方で、里親に関心のある方は、ぜひご参加ください。

◆開催日　2月28日(金)　15：00～
◆場　所　風テラスあくね　交流室３・４
◆対　象　里親希望者

転出届・転入予約はマイナポータルで

問 市民課　住民年金係　☎73-1218

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインで転出届および転入予約（来庁予定の連絡）ができますので来庁が不要となります。詳しくはデジタル庁ホームページをご覧ください。

※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届などの手続きが必要です。

デジタル庁のホームページ ▶

戸籍に氏名の振り仮名が記載されるようになります

問 市民課　住民年金係　☎73-1218

令和７年５月（予定）から、戸籍に氏名の振り仮名が記載されるようになります。

市では令和７年７月頃に、阿久根市に戸籍（本籍）がある方へ、戸籍に記載される予定の氏名の振り仮名の通知書を発送予定です。

通知された振り仮名に**誤りがある場合**は、市に届出をお願いします。正しい振り仮名の場合は届出の必要はありません。

詳しくは法務省のホームページをご確認ください。 ▶

麻しん風しん混合第２期の予防接種の接種期間が終了します

問 こども保健課　保健予防係　☎73-1228

麻しん、風しんは発熱・発疹などを引き起こす感染症です。また、妊娠20週頃までの妊婦が風しんにかかると出生児が先天性風しん症候群（難聴、心疾患、白内障など）を発症する可能性が高くなります。将来のことも考え、接種がお済みでない方は早めに受けましょう。

◆対象者
平成30年４月２日～平成31年４月１日生まれの方
◆実施期間　令和７年３月31日(月)まで
◆場　所　予防接種実施協力医療機関（要予約）
◆接種費用　無料

※予診票は令和６年４月に対象者に発送しております。再発行を希望する方はこども保健課までお問い合わせください。

令和６年度地域自殺対策事業　入場料無料

「こころの健康づくり講演会」開催

問 こども保健課　保健予防係　☎73-1228

「こころを穏やかに・健やかに保ち、生き生きと暮らすためのヒントやストレス対処法」「こころとからだが軽くなる運動」など、ご自身やご家族の健康づくりにお役立ていただく機会として、次のとおり講演会を開催します。ぜひご参加ください。

◆日　時　3月19日(水)　13：20～15：00（受付 12：50～）
◆場　所　風テラスあくね
◆演　題
『からだとこころのつながり
～健康なからだがもたらすこころのバランス～』
◆講　師
株式会社こころ機構
産業カウンセラー・健康運動指導士
川尻　彰（あきら）　先生

毎年好評の講演会です！
笑って、体も動かして、
一緒にこころの健康について考えてみませんか？

※元気度アップポイント事業の対象になります。

阿久根市自主文化事業

「風テラスあくね吹奏楽フェスティバル」を開催します

問 生涯学習課 文化係 ☎72-1051

◆開催日時 **3月30日(日)** 開場 13：00 / 開演 13：30

◆会　　場 風テラスあくね ホール

◆入 場 料 無料（整理券が必要です。）

◆申込方法

往復はがきまたはインターネット

◆申込期限 3月7日㈮必着

インターネットによる申し込みはコチラ ▶

◆申し込みに当たっての注意事項

- 申し込みは1人1回限りです。
- 応募多数の場合は抽選となります。
- 車椅子利用の方、親子ルーム、託児サービスの利用希望の方は、往信裏面にその旨をご記入ください。

【往復はがき記載例】※往復はがきの料金は170円です。

切手

往信

〒899-1628

阿久根市塩鶴町2―2

風テラスあくね

「吹奏楽フェスティバル」係

（山折り）

注意！

この面には何も記入しないでください。

※結果は3月14日をめどに通知します。

切手

返信

〒（代表者郵便番号）

（代表者のお名前）

（代表者のご住所）

（谷折り）

（代表者の）
①名前・年齢
②住所
③電話番号

※同伴者がいる場合
（同伴者の）
①名前
②年齢
（同伴者1人まで）

参加校（5校）

♪出水中央高等学校
♪鹿児島実業高等学校
♪鹿児島情報高等学校
♪神村学園中等部・高等部
♪龍桜高等学校

肥薩おれんじ鉄道からお知らせ

「おれ鉄沿線つながるマルシェ～食もお酒も笑いもほおバル！」を開催します

問 企画推進課 地域振興係 ☎73-1215

問 よしもとセールスプロモーション＆エリアアクション ☎03-3209-8054

肥薩おれんじ鉄道沿線3駅（阿久根駅、出水駅、水俣駅）で同日開催します。各駅で異なる沿線の特産品やお店自慢の逸品が勢揃いし、それぞれの駅でこだわりのお酒とグルメをご提供します。ステージイベントでは、よしもとの人気芸人によるお笑いステージもあります。おれんじ鉄道に乗って、沿線の魅力を楽しみましょう。

◆開催日時 **3月1日(土)** 11：00～16：00

◆場　　所 阿久根駅舎、出水駅前芝生広場、水俣駅前大屋根広場

◆主　　催 鹿児島県北薩地域振興局、熊本県芦北地域振興局

詳しくは肥薩おれんじ鉄道のホームページをご確認ください。 ▶

薩摩おいどんリーグからお知らせ　観戦無料

薩摩おいどんリーグ2025を開催します

問 スポーツ推進課 スポーツ係 ☎73-4649

大学野球部・社会人チーム・プロチームの野球の交流戦「薩摩おいどんリーグ2025」が令和7年2月22日から3月9日まで開催され、阿久根総合運動公園野球場でも開催されます。

◆対戦カード（阿久根総合運動公園野球場開催分）

日にち	曜日	開始時間	組み合わせ
2/22	土	10：00	立教大 － 鹿児島国際大
		13：00	立教大 － 福岡大
2/23	日	10：30	立教大 － NTT西日本
		13：30	立教大 － 薩摩ライジング
2/24	月祝	11：00	福岡大 － 愛知東邦大
2/26	水	10：00	立教大 － 日本経済大
2/27	木	10：00	立教大 － 日本製鉄大分
3/2	日	11：00	★立教大 － Honda
3/3	月	10：00	立教大 － 周南公立大
3/5	水	10：00	沖データ － 鹿児島国際大
		13：00	REXパワーズ － MSH医専
3/6	木	10：00	MSH医専 － 九州スポカレ

★はリーグ内での注目カード（ピックアップゲーム）

阿久根市交通災害共済に加入しませんか？

問 総務課　危機管理係　☎73-1210

交通災害共済は、交通事故による災害を受けた人を救済するための相互扶助制度です。交通事故は皆さんの身近なところで発生しています。万一に備えて、家族そろって交通災害共済に加入しましょう。

見舞金

死亡　100万円

傷害　1万5千円～24万円（上限）

一人当たり掛金
年間 **365円**
75歳以上の方は200円

対象となる事故

自動車、自動二輪車、原動機付自転車、電動キックボード、その他の交通用具に供する軽車両や電車、気動車、旅客運送に供する航空機または船舶による交通事故（過失による自損事故を含む）で、日本国内どこで発生しても適用されます。

※電動カート（乗用玩具など）および車椅子、電動車椅子（シニアカー）などの歩行補助具による自損または対人事故は対象外

見舞金請求には、交通事故証明書が必要となりますので、事故に遭われた際は、軽いけがでもすぐ警察に届け出てください。

◆加入できる人　阿久根市に居住し、住民基本台帳に登録されている方

◆請求できる期間　事故発生の日から１年以内

◆請求できる人
① 会員本人（16歳未満は親権者）
② 会員の遺族（ただし、配偶者、子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹に限ります）

※傷害見舞金は、基本額１万円に、入院１日につき1,200円、通院実日数１日につき1,000円を加算した額が支給され、上限金額は24万円になります。

※支給対象となるのは、入院日数と通院実日数の合計が５日以上の治療を要する傷害を受けた場合です。

※医療機関で診断・治療を受けた事故が対象となります。（整骨院のみの治療などは対象外）

加入方法

２月中旬以降に自宅に届く加入申込書により、阿久根市指定金融機関などで会費を納入してください。

※納入可能な金融機関などについては加入申込書裏面に記載していますのでご確認ください。なお、コンビニエンスストア、電子決済での納入はできません。

加入者の変更方法

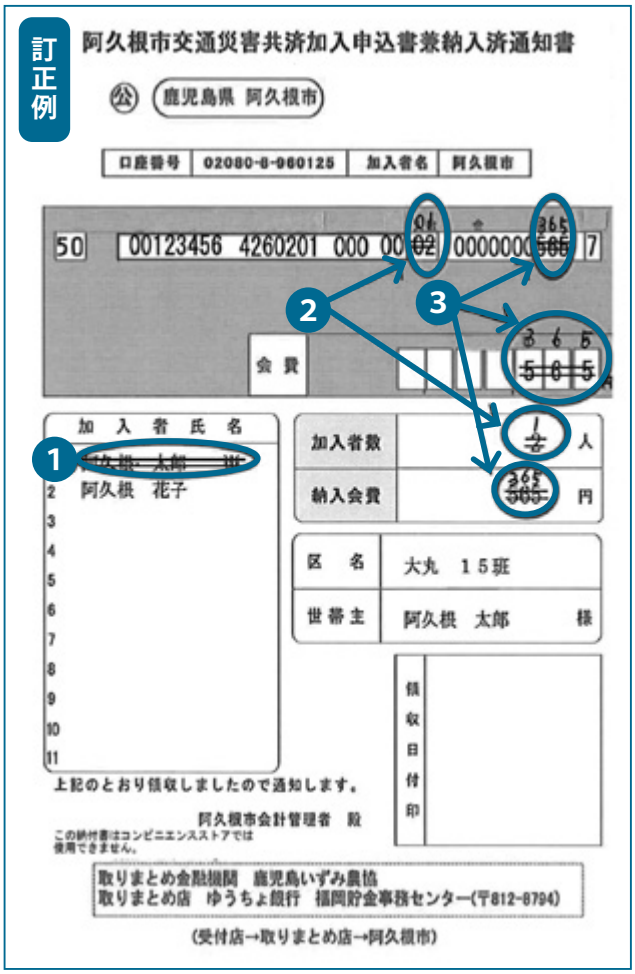
加入申込書は、令和７年２月１日現在で作成しています。**加入申込書に記載されている方以外の方（阿久根市在住）が加入する場合は、総務課危機管理係までご連絡ください。**

なお、加入されない方がいる場合は、次のとおり訂正してから会費を納入してください。

◉訂正方法（訂正例：右）

① 加入されない方の氏名を横線で削除
② 今回、加入される人数を訂正
③ 納入会費の金額を訂正
※ １人当たり年額365円（75歳以上200円）

※現加入期間満了日または令和７年２月１日現在で75歳以上の方については、あらかじめ「※」印が印字されており、会費は200円で計算されています。



「華の牛肉祭りAKUNE」開催中

問 阿久根市肉祭り実行委員会事務局（農政林務課内）☎73-1142

華鶴和牛を使用した料理を市内店舗において提供する「華の牛肉祭りＡＫＵＮＥ」が開催中です。

厳選された華鶴和牛の希少で良質な肉を、市内飲食店が趣向を凝らして提供しますので、ぜひご来店ください。

◆開催期間　３月２日日まで

◆場　　所　参加店舗16店

▲実行委員会Instagram店舗紹介

男子第35回・女子第32回

阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会を開催します

問 九州選抜高等学校駅伝競走大会実行委員会事務局（スポーツ推進課内）☎73-4649

◆日　　時　３月９日日　女子　10：00～
男子　11：40～

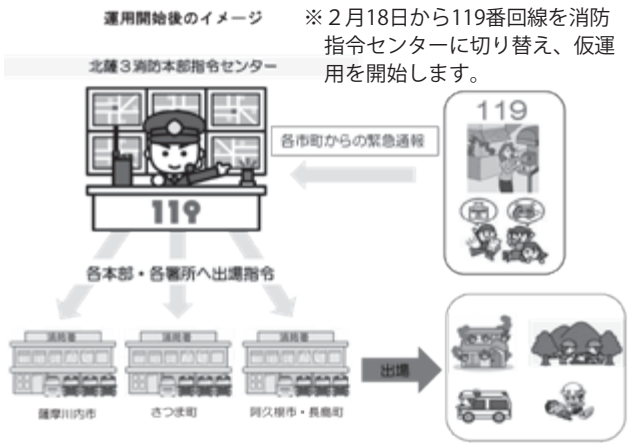
◆場　　所　阿久根市陸上競技場　発着

※市民の皆さまの応援をよろしくお願いします。また、コース周辺の住民の皆さまにはレース中ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

北薩３消防本部指令センターの運用が始まります

問　阿久根地区消防組合　☎72-0119

阿久根地区消防組合、薩摩川内市消防局、さつま町消防本部の北薩３消防本部では、管轄地域からの119番通報を一括して受信する共同消防指令センターの運用を、令和７年４月１日から開始します。



※２月18日から119番回線を消防指令センターに切り替え、仮運用を開始します。

市民の皆さまへ

・消防車や救急車を要請する場合は、これまでどおり「119」に通報してください。

・通報の際は、市町名から住所をお伝えください。

例）救急です。場所は阿久根市○町○番地です。

【映像通報119】システムが新たに導入されます

▶スマートフォンからの通報者に、動画の送信を依頼し、消防隊が到着前に火災や事故現場の状況を正確に把握したり、応急手当のアドバイスを行うことができます。

▶指令センターから通報者へショートメッセージを送信し、届いたメッセージのURLからWEBに接続することで映像通報が可能となります。

※データ通信料金は通報者側の負担となるため、承諾があった方にのみ、協力依頼をいたします。

【指令センター】

❶消防から通報者へショートメッセージでURLを送信

❷通報者は届いたメッセージからWEB接続し、ビデオ通話で映像共有

【通報者】

民間による患者搬送サービス
患者等搬送事業者を認定しています

問　阿久根地区消防組合　救急救助係　☎72-0119

阿久根地区消防組合では、緊急性がない患者が安心・安全に利用できる移動手段として、民間事業者を患者等搬送事業者として認定しています。（利用は有料）

利用方法などの詳細な内容の料金などについては、直接、事業所へお問い合わせください。

◆認定状況

事業所名	電話	車両	台数
にこはな 阿久根営業所	68-6637	寝・椅子	2

患者等搬送事業者とは？

▶緊急性がない患者のための患者搬送サービス

▶応急手当や搬送法についての講習を修了した乗務員が乗車

▶車椅子やストレッチャーのほか、応急手当に必要な資機材を積載

◎救急車の適正利用をお願いします

救急出場の中には、タクシー代わりと思われるような緊急性のないものも含まれています。緊急性のない患者搬送の際は、民間の患者等搬送事業者をご活用ください。本当に緊急を要する人のためにも、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

３月１日～７日は春季全国火災予防運動期間です

問　阿久根地区消防組合　☎72-0119

空気が乾燥しているこの時期は、火が着くと一気に広がり、火災になる危険があります。

もし火が燃え広がった場合は、一人で消そうとせず、近所の人に知らせて「119番」に通報してください。

家庭ごみの焼却、野焼きについて

▶焼却炉を使用せず廃棄物を燃やすことは法令により原則禁止されています。

▶焼農業などでやむを得ず草木などを燃やすときは次のことに注意してください。
・消防署へ届出を行う。（届出は電話連絡で可能）
・周辺住民へ迷惑が掛からないようにする。
・風向きや時間帯を十分配慮し、乾燥注意報の発令時、風の強い日は止める。
・火から目を離さず消火器や水を準備する。
・家庭ごみなどを一緒に燃やさない。

乗合タクシーを利用してみませんか

問 企画推進課　地域振興係　☎73-1215

「乗合タクシー」は市内９地区、10 路線を運行しており、どなたでも１人一律 200 円で乗車することができます。対象地域内の利用者が乗り合わせて、定められた区間を運行しています。

◆利用方法は？

対象地域を運行するタクシー会社に電話をして予約します。**対象地域内を出発する始発便については前日までに、それ以外の便については出発 30 分前までに予約をお願いします。**定刻になりましたら、利用者が指定する場所に向かい、順に乗せて、定められた区間を運行します。

手順１ 対象地域の予約先に電話予約
▼
手順２ 予約時刻に自宅で乗車
▼
手順３ 下車時に 200 円の支払い

対象地域	運行曜日	運行時間	予約先
大川地区	**月～金**	往路（自宅→的場地区周辺）7：50、9：40、13：20 復路（的場地区周辺→自宅）10：00、12：10、15：00	(資)阿久根タクシー ☎090-3665-8484
西目（落、栖、馬見塚、佐潟）・**遠見ケ岡・倉津地区**	**月水**	往路（自宅→市街地） 8：00、13：10 復路（市街地→自宅） 11：00、15：30	
多田（丸内、大下、内田）・**桑原城**（桑原城上、桑原城下、長谷）**地区**	**火木**	往路（自宅→市街地） 8：00、13：15 復路（市役所周辺→自宅） 11：00、16：10	
山下（弓木野、尾崎、山下馬場、遠矢）**地区**	**月水金**	往路（自宅→市街地） 8：05、13：15 復路（市街地→自宅）11：55、16：00	
脇本北部（八郷、小漉、大漉、松ヶ根）**地区**	**月水金**	往路（自宅→脇本地区公民館周辺） 8：20、13：00 復路（脇本地区公民館周辺→自宅） 10：45、15：30	(資)阿久根タクシー ☎080-6423-8496
脇本西部（深田、黒之浜、大谷）**地区**	**月水金**	往路（自宅→脇本地区公民館周辺） 8：50、13：30 復路（脇本地区公民館周辺→自宅） 11：20、16：00	
脇本東部（瀬之浦上、瀬之浦下、大渕川）**地区**	**火木**	往路（自宅→脇本地区公民館周辺） 9：00、15：00 復路（脇本地区公民館周辺→自宅） 11：50、17：15	
脇本東部（桐野上、桐野下）**地区**	**火木**	往路（自宅→脇本地区公民館周辺） 9：20、14：40 復路（脇本地区公民館周辺→自宅） 11：30、16：55	
田代（米次、尾原、田代中、田代下）**地区**	**月水金**	往路（自宅→市街地） 8：00、13：10 復路（市街地→自宅） 11：55、16：00	第一交通㈱ ☎0120-63-1135
鶴川内（栫、羽田、宮原、横手、萇野、木佐木野）**地区**	**月水金**	往路（自宅→市街地） 8：10、13：20 復路（市街地→自宅） 11：55、16：00	

毎年３月は「自殺対策強化月間」です

問　こども保健課　保健予防係　☎73-1228

誰も自殺に追い込まれることのない社会へ

日本の自殺者数は近年２万人台で、令和４年は21,252人と依然多くの方が自ら命を絶つ厳しい状況が続いています。鹿児島県では、**令和４年の自殺者数が315人**で、この数は**交通事故死亡者数の約５倍**にあたります。（人口動態統計）

阿久根市では、平成30年から令和４年までの５年間に16人が自死され、性別・年代別では60歳代以上の男性が多い現状です。原因別では、「健康問題」が最も多く、「家庭問題」「経済・生活問題」「勤務問題」など様々な悩みを抱えて**「心理的に追い込まれた末の死」**である場合がほとんどです。**自殺は、個人の問題ではなく、“身近な社会問題”です**。この機会に、私たち一人ひとりにできることを考えることが大切です。

周囲の支えや見守りが悩んでいる人の助けに

悩みを抱え「こころの不調」から判断力や生きる意欲を無くしている人、自殺を考えている人などは、気分の落ち込み、表情が暗い、眠れない、食欲不振などを伴い、何らかの心のサインを発していることが多いといわれています。「いつもと違うな」と、周りの身近な人の心のサインに気付いたら、「どうしたの？」と声を掛け、話に耳を傾けてください。

また、必要に応じて専門の相談機関を利用してください。

自殺予防のために私たちができること

気付き	家族や仲間の変化に気付いて、声を掛ける。
傾　聴	本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける。
つなぎ	早めに専門家に相談するようにする。
見守り	温かく寄り添いながらじっくりと見守る。

独りで悩みを抱え込まず、相談してみませんか。

全国共通の相談窓口

- **よりそいホットライン**　☎0120 - 279 - 338
- **こころの健康相談統一ダイヤル**　☎0570-064-556
- **子どもＳＯＳダイヤル**　☎0120 - 0-78310
- **ＤＶ相談＋（プラス）**　☎0120 - 279 - 889

県内・市内の相談窓口

こころの健康・いのちの相談など

▶ **こころの電話**
☎099 - 228 - 9566・9567

▶ **鹿児島いのちの電話**
☎099 - 250 - 7000（24 時間受け付け）

▶ **鹿児島県精神保健福祉センター**
（こころの問題や病気で困っている方や家族の相談）
☎099 - 218 - 4755

▶ **こころ・つむぎの会**
（自死遺族の方の分かち合いの会）
☎099 - 218 - 4755

▶ **阿久根市福祉課 児童福祉係**
（子どもと家庭に関する相談所）
☎0996-73-1248

▶ **阿久根市こども保健課 保健予防係**
☎0996 - 73 - 1228

借金や生活・法律のことなど

▶ **法テラス・サポートダイヤル**
☎0570 - 078 - 374

▶ **阿久根市消費生活センター**（消費生活相談）
☎0996 - 73 - 1114

ひきこもりや不登校・いじめのこと

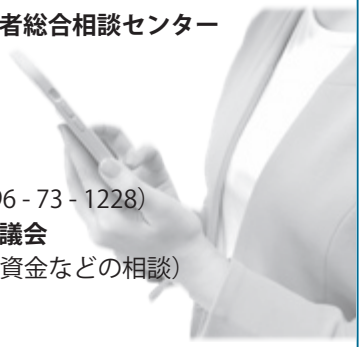
▶ **かごしま教育ホットライン**
☎0120 - 783 - 574

▶ **かごしま子ども・若者総合相談センター**
☎099 - 257 - 8230

面接相談

▶ **保健センター**
（まちの健康相談室）
（保健予防係　☎0996 - 73 - 1228）

▶ **阿久根市社会福祉協議会**
（心配ごと相談・生活資金などの相談）
☎0996 - 72 - 3778



SNS の相談窓口

▶ **NPO 法人**
自殺対策支援センターライフリンク

▶ **NPO 法人**
あなたのいばしょ

かごしま就職・転職応援フェアオンライン合同企業説明会のご案内

県内企業への就職を応援するため、合同企業説明会をオンラインで開催します。140以上の鹿児島の企業が参加し、企業の魅力や働き方を紹介します。参加者の中から抽選で「鹿児島黒牛」のお肉が当たるなど、さまざまな特典もありますので、ぜひご参加ください。

▶日時　3/6㈭～ 3/8㈯

▶対象　2026年３月卒業見込みの大学生・短大生など、鹿児島県へのUIターンを希望する方、県内企業への転職を検討中の方　など

詳しくは特設サイトをご覧ください

問　県産業人材確保・移住促進課
☎099-286-3098

鹿児島県原子力防災アプリをご利用ください

原子力災害時に円滑な住民避難を可能とするために「鹿児島県原子力防災アプリ」を開発しました。このアプリをダウンロードすると、次のようなことができます。

▶自治体からの避難に関するお知らせの受信

▶現在地から最寄りのモニタリングポストにおける空間放射線量の確認

▶地域防災計画で定められている避難経路の検索

▶ＱＲコードを活用した避難所などでの受付登録　など

ぜひダウンロードしてください。

詳しくは県HPをご覧ください

問　県原子力安全対策課
☎099-286-2543

シルバー人材センターの会員募集について

シルバー人材センターでは、会員（60歳以上の方）を募集中です。市内にお住まいで働く意欲のある方ならどなたでも入会できます（特に清掃作業を希望される方を募集しています）。次のとおり、入会説明会を開催します。参加を希望される方は事前にお申し込みください。

▶開催日
3/4㈫・18㈫、4/1㈫・15㈫

▶時間　9：00 ～ 10：30

※上記日程以外でもご連絡いただければ随時開催します。

▶場所　シルバー人材センター

▶申込先
阿久根市シルバー人材センター
☎0996-73-4888

栄養士・調理師免許の各種申請のオンライン申請が始まります

栄養士・調理師免許をお持ちの方で、免許証の訂正や書き換え、再交付などの申請を希望される場合、オンラインによる申請ができるようになりました。また、オンライン申請に係る手数料のお支払いに、クレジットカードやペイジーによるキャッシュレス決済が利用できます。

詳しくは県ＨＰをご覧ください

問　県保健福祉部健康増進課
☎099-286-2717

「移動ねんきん相談所」を開設します

国民年金・厚生年金・船員保険および共済年金などの年金制度全般に関する「移動ねんきん相談所」を開設します。相談には川内年金事務所の職員が応じます。利用される方は、市民課に事前予約が必要ですので、ご注意ください。予約の際は「氏名」「基礎年金番号」「相談内容」「連絡先」などをお知らせください。

▶日時　3/13㈭

▶時間　9：30 ～ 15：30

▶場所　風テラスあくね 交流室５

▶持参するもの
印鑑、年金手帳、年金証書、ねんきん特別便、ねんきん定期便など

▶予約受付期間
2/27㈭～ 3/6㈭

問　市民課住民年金係
☎0996-73-1218

「鹿児島県民のための肺がん・大腸がん予防講座」のご案内

２人に１人はがんになる時代。身近な病気である肺がん・大腸がんの予防や治療について、専門医が分かりやすく紹介する「肺がん・大腸がん予防講座」をオンデマンド配信中です。詳しくは県ホームページをご覧ください。（「肺がん・大腸がん予防講座」で検索）

▶配信期間　2/1㈯～ 2/28㈮

問　県保健福祉部健康増進課
☎099-286-2721

有料広告

トラクター・重機
トラック・農機具
古くても、壊れてても、不動車でも
見積り無料 どこでもかけつけます！
どこよりも高く買い取ることを目指しています!!
広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、又は買取額10%UP致します。
TEL：0986-77-9092
農機具高価買取専門店 Avanti アヴァンティ
古物商許可 第951040015111号
携帯：080-3375-9750
FAX：0986-77-9092
〒885-1105 宮崎県都城市丸谷町
https://kaitorimiyazaki.jimdo.com

有料広告

出水法律事務所
弁護士 米田 圭吾（鹿児島県弁護士会所属）
鹿児島県出水市昭和町3-24
☎0996-79-3535
初回の相談は1時間まで無料です。
月曜日～金曜日　午前9時30分～午後5時まで
相続、離婚、借金、労働、交通事故、その他幅広い分野を取り扱っております。お困りのことについて、お気軽にご相談ください。
まずは、お電話でご予約ください。

キギョウノ扉

あくねの企業の魅力を紹介

野村建設工業株式会社

06

あくねの企業の魅力を紹介

皆さんが暮らしている阿久根市にはたくさんの企業があるのをご存知でしょうか？

就職を考える学生さんはもちろん、その親世代も意外と阿久根にある企業が何をしているか知らないことも多いと思います。それはもったいないです！

このコーナーでは市民の皆さんに地元企業・働く人の魅力をお伝えします。

第６回目は、社会基盤の整備などにより、地域を支えている野村建設工業株式会社 野村雄介（ゆうすけ）さんにお話とメッセージを伺いました。

会社について教えてください！

野村建設では港湾工事や道路工事、橋梁補修工事、災害復旧工事などさまざまな工事を手掛けており、阿久根新港の屋根は私たちが補修しました。皆さんも一度は私たちが整備・補修した道路や橋を利用したことがあるかもしれません。

会社は昭和20年の終戦直後に私の祖父が創業したのですが、戦争により荒れ果てた阿久根を見た祖父が地元である阿久根のまちをなんとか復興したいとの思いがきっかけで建設業を創業したと聞いています。

現在もその思いは引き継がれ、阿久根での現場仕事をメインに地元に密着した企業として安心・安全なまちづくりに努めています。

営業開発マネージャー
野村 雄介（ゆうすけ）さん

学生時代にハマっていたお菓子作りが再燃。休日にはベイクドチーズケーキなど、SNS 簡単レシピ動画を参考にしたお菓子作りや植物の手入れをして過ごし、リフレッシュしているそうです。

ズバリ 会社の魅力は？

創業80年の長い歴史を誇る会社で、その中で培った確かな経験と技術力を持つ社員が多数在籍しており、この経験や技術力がお客様からの信頼につながっています。また、職場環境は非常に風通しが良く、若手社員と長年勤める社員の意見交換が活発に行われています。このことによって、新たなアイディアや改善策が生まれることもあり、社員一人一人が成長できる環境が整っています。

さらに、ファミリー休暇などを設けており、仕事とプライベートのバランスが取りやすいことも魅力の一つです。

若い世代へ メッセージ!!

仕事において、一人でできることには限りがあります。人付き合いが苦手な人もいるとは思いますが、ぜひ、普段のコミュニティ以外の場に積極的に参加してほしいです。交流を通してさまざまな世界や技術があることを知るきっかけになったり、新しい自分を発見できたりと人生の幅が広がると思います。より充実した人生を築くために、さまざまな人と関わりを持ってみてください。

野村建設工業株式会社

創　　業	1945(昭和 20 年) 年
事業内容	建設業
従業員数	35 人
勤務時間	8：00 ～ 17：00
休日など	週休２日制 ※勤務表による
所 在 地	赤瀬川 3028 番地
電　　話	73-1115

市では、企業の魅力を発信し、市内企業への就業促進や人材確保を目的として、市ホームページで企業紹介を行っています。

企業紹介記事についてのお問い合わせ
商工観光課商工振興係（☎ 73-1278）

2025
2 月号 地域おこし協力隊通信
Vol.25

阿久根の美しい自然の中で、魅力を再発見し、得意を生かして阿久根を盛り上げたい。活動の様子をお伝えします。

コーヒー染め体験を開催しました

コーヒーのかすを利用した染め物体験を阿久根市新町の喫茶店「ジャンクサーフコーヒー」で開催しました。一度ドリップしたコーヒーかすは通常はそのまま廃棄されますが、今回はそのかすを生かして染色用の抽出液を作りコーヒー染め体験をやりたいと店主の砂畑さんからご提案いただきました。当日の参加者は７名で、染めたい白い布製品を各自で持参してもらいあらかじめ作っておいたコーヒー液で染色しました。家庭にあるものを利用して自宅でも実践してもらえたらという砂畑さんの思いから、染色後の色止め液には食塩を使用しました。白い布を一度濡らしてからコーヒー液に浸け、しばらく煮ると濃い茶色になりますが、色止め液に浸してから水ですすぐとやさしいベージュ色に変化します。着古してくたびれた白いＴシャツも色が付くことでまた違う風合いになり、衣類の再利用にもつながります。染色を行っているあいだにコーヒーを飲みながら歓談の時間もあり、砂畑さんからコーヒーの淹れ方のコツを伺ったり参加者同士の交流も深まり、とても良い体験会となりました。

阿久根市地域おこし協力隊　濱田 舞

空き家の窓　地域とつながる宿泊体験　編

こんにちは。地域おこし協力隊の齊藤です。

今回の「空き家の窓」では、「暮らすように旅をする」をコンセプトに、昔の塩屋の倉庫をリノベーションした宿泊施設“塩屋ホステル”について、カフェ“ハモニカン”も経営する松元さん夫婦に取材してきました。ここには、“海辺のまち”というキーワードやGoogleマップのレビューが外国語で書かれていたなど、さまざまな理由で訪れる人がいて、おすすめのお店を教えると、「地元の人たちと話せて、阿久根の魅力を深く知ることができた」という声があり、訪れるたびに新しい発見があると評判です。一方で、地元の人たちもホステルを訪れたゲストとの交流を楽しんでおり、日常に新たな風が吹き込まれるようだと語っています。

▲松元さん家族

このように、塩屋ホステルは単なる空き家改修をした宿泊施設を超えて、地域と宿泊者をつなぐ架け橋の役割を果たしています。新たなつながりが広がる場として、貴重な存在となっており、その価値は日々深まっています。皆さまもぜひ足を運んでみてください！

空き家に関する相談や情報がありましたら教えていただけますと幸いです。来月もお楽しみに！

空き家に関する相談や情報があれば、いつでもお問い合わせください。
また、左記のＱＲコードからも空き家相談ができます。
お気軽にご相談ください。

阿久根市地域おこし協力隊Facebook、Instagramもあります。

協力隊への連絡は　（株）まちの灯台阿久根　（☎ 0996-72-3646）
阿久根市役所 商工観光課（☎ 0996-73-1114）
企画推進課（☎ 0996-73-1215）
まで

VOL.35

桐原　齊子（さいこ）さん（87）

（潟区）

日本舞踊を27年続けているのは桐原齊子（さいこ）さん。鶴見分館で週に1回開催されている日本舞踊教室（二葉会）に所属されています。

踊りとの出会いは定年退職後、友人から誘われたことがきっかけでした。初めは乗り気では無かったそうですが、やってみると日本舞踊の虜になり、これまで続けられているそうです。

元気の秘訣について尋ねたところ「中腰や片足などの動作があるため、全身の運動になる。また、振り付けを覚えるため、頭の体操にもなる」「ここに来て仲間ができ、話すことも楽しみの一つ」と教えてくださいました。今後も踊りを続けたいと話す桐原さん。「100歳まで踊りたい」と生き生きとした表情で話してくださいました。

「あくねの元気者」大募集！ 75歳以上の方で話題性のある方をお待ちしております。
問 介護長寿課　高齢者支援係　☎73-1241／FAX 73-0297／korei@city.akune.kagoshima.jp

防災豆知識

このコーナーでは日頃から備えなければならない防災に関する豆知識などをご紹介します。

問 総務課　危機管理係　☎73-1210

災害に備えて ～放射線・放射能の単位～

放射線や放射能を表す単位に「ベクレル（Bq）」「グレイ（Gy）」「シーベルト（Sv）」の3つがあります。

原子力災害が発生すると、「ベクレル」や「シーベルト」を使った数値を見聞きする機会が増えることが予想されます。

これらの単位が何を表しているのか理解し、原子力防災に役立てましょう。

ベクレル（Bq）	放射性物質が放射線を出す能力（放射能の強さ）を表す単位
グレイ（Gy）	放射線のエネルギーがどれだけ物質に吸収されたかを表す単位
シーベルト（Sv）	放射線を受けた時の人体への影響を表す単位

【イメージ】
ボクシングに例えると…

ベクレル	相手がくり出したパンチの数
グレイ	体に受けたパンチの威力
シーベルト	体に受けたダメージの大きさ

▲「年間当たりの被ばく線量の比較」については環境省のホームページをご覧ください。

【参考資料】

シーベルト		ミリシーベルト		マイクロシーベルト
1 Sv	＝	1,000mSv	＝	1,000,000 μ Sv
0.001Sv	＝	1 mSv	＝	1,000 μ Sv
0.000001Sv	＝	0.001mSv	＝	1 μ Sv

・健康に影響を与える放射線量の目安 → 年間 100mSv
・全身に 1,000mSv 以上の放射線を短期間で受けると吐き気などの症状が現れる
・ＵＰＺにおける防護措置
500 μ Sv/h 以上を観測 → 対象区域は避難等を実施
20 μ Sv/h 以上を観測 → 対象区域の生産物の摂取制限、1週間程度内に一時移転を実施

秋の叙勲　功労者３人が受章
～下園満さん、野畑直さん、岩﨑健二さん～

令和６年秋の叙勲で、元阿久根商工会議所会頭の下園満（みちる）さん（尻無区）が旭日小綬章を、元阿久根市議会議員の野畑直（すなお）さん（浦区）と岩﨑健二（けんじ）さん（潟区）が旭日双光章を受章し、１月９日に市長を表敬しました。

旭日章は、国家や公共に対し功労のある方に対し、その功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた方に授与されます。

旭日小綬章（きょくじつしょうじゅしょう）　下園満（みちる）さん

水産会社を営みながら、阿久根商工会議所会員として、また、平成25年から９年間は会頭として、地元の活性化に尽力されました。

旭日双光章（きょくじつそうこうしょう）　野畑直（すなお）さん

阿久根市議会議員を４期13年10月、うち２期４年は議長を務め、市の発展に寄与されました。

旭日双光章（きょくじつそうこうしょう）　岩﨑健二（けんじ）さん

阿久根市議会議員を５期14年４月、うち２期２年は副議長を務め、市の発展に寄与されました。

一年間の無事を願って
～新年恒例　尾崎伝統行事「でで落とし」～

１月12日、尾崎地区で、山下分団尾崎班による伝統行事「でで落とし」が行われました。同行事は、大正時代から続く伝統行事で、地上約10メートルの高所に設置された籠に「でで（ダイダイ）」を入れて、それに向かって水圧ではじき飛ばすところが見どころです。

昔ながらの手動式サイレンの音とともに放水が始まり、籠の中のダイダイをはじめとした柑橘類が飛び出すと、地域住民からは歓声が上がりました。

放水後に消防団詰所前で行われた餅投げでは、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層が参加し、尾崎地区には終始にぎやかな声があふれていました。

あくねの農業を楽しく体験
～「農業体験！阿久根の宝、収穫ツアー」実施～

１月26日、市内外の方を対象とした、農業体験ツアーが開催されました。

当ツアーは「あくね農業体験ツアーズ」（代表：白濵和利（かずとし）さん）が主催するもので、市内外から集まった夫婦や親子連れなど14人が参加されました。

参加者の皆さんは、バスで阿久根市内を巡り、スナップエンドウ、シイタケ、イチゴ、ミニトマトの生産者から農産物にまつわる豆知識や収穫方法などを教わった後、収穫を楽しんでいらっしゃいました。

参加された方々からは、「朝早く家を出て、遠方から参加した甲斐があった」「大満足。次回も参加したい」との声がありました。

鶴翔News vol. 116

阿久根市内唯一の高校「鶴翔高校」
そこで過ごす生徒たちの活躍を紹介します

３年間の集大成！ 大学入試共通テスト受験

1月 18 日・19 日に大学入学共通テストが実施され、総合学科３年アカデミア系列から７人、情報・ビジネス系列から１人の生徒が挑みました。

山下太一（たいち）さん（鶴川内中出身）は「自分の頑張ってきたことを点数にできるチャンスでもあるので、自分のできるベストを尽くしました。ここから、二次試験の勉強などもあるので、これからの進路に向けて、残りの日にちを体調管理に努めて、頑張っていきたいと思います」と語ってくれました。

当日、受験生は緊張した面持ちでしたが、それぞれ３年間積み重ねてきた努力の成果を発揮することができたようです。来月から実施される二次試験までベストを尽くし、無事に志望校へ合格してくれることを祈ります。

魚のさばき方講習

12月 18 日、北さつま漁業協同組合と阿久根市環境水産課のご指導のもと、魚のさばき方講習が行われ、食品技術科の２年生 14 人が参加しました。阿久根市の基幹産業のひとつである水産業への理解を深め、阿久根漁港で水揚げされる水産物について学び、地域理解を深めることを目的とした本講習は毎年生徒が楽しみにしている授業です。生徒たちは魚をまるごとさばき、調理・試食まで体験しました。講習に参加した２年食品技術科の宮下流碧（るい）さん（阿久根中出身）は「さばの塩焼きや鯛の煮付けなどを作りました。魚をさばく機会はあまりないので、新鮮な気持ちで調理をしました。これからは阿久根の魚を調理して食べる機会を増やすことができれば良いと思いました」と語ってくれました。

紅甘夏収穫実習

12月 19 日、20 日に紅甘夏収穫実習が行われました。この実習は、地域の農家で収穫期の体験を行い、果樹に対する学習を深めること、農家との連携で、これからの地域連携の課題を見つけ、解決していく学習へのつながりを作ることを目的にしています。農業学科１年生、２年生と食品技術科１年生の計 34 人が、阿久根三笠桐野地区農家の方々にお世話になりました。食品技術科１年生の永井野美桜（みお）さん（阿久根中出身）は「農家での実習では、収穫の大変さや、切り方など細かく知ることができました。また、多くの方々と交流することができました」と語ってくれました。

地域の方々との交流を通して多くのことを学んでほしいと思います。

2月は猫の適正飼養推進月間です

問 環境水産課 生活環境係　☎73-1219

身勝手に捨てられたり、迷子のまま飼い主が分からない猫や放し飼いにより過酷な環境で生まれる子猫も多くいます。

正しい猫の飼い方、責任ある飼い方が猫の命を守ります。

“猫と人が共生するまち”を目指しましょう。

室内で飼いましょう

交通事故や猫同士のケンカ、感染症などから猫を守りましょう。ふん尿や鳴き声、ごみあさりなどの猫による周囲の方への配慮も飼い主の責任です。環境を整えれば、猫は室内だけで心身ともに健康に過ごすことができます。

所有者明示をしましょう

開いたドアや窓から脱走することや突然の災害で行方不明になることがあります。連絡先を書いた迷子札を首輪につけ、マイクロチップを施すことで、飼い主の元に戻ることができます。

不妊・去勢手術をしましょう

猫は１年に２～３回出産し、１匹のメス猫から１年後には 20 匹以上に増えることがあるほど繁殖力の高い動物です。不妊・去勢手術を行うと、病気の予防やストレス軽減のほか、発情期の行動の減少が期待できます。

最期まで愛情と責任をもちましょう

やむを得ない事情で猫を手放さなければならないときは、里親を募集するなど可能な限りの手を尽くし、引き取り手を探してください。

猫を遺棄する行為は犯罪です。法律で禁じられており、１年以下の懲役または 100 万円以下の罰金が科せられます。

見守り新鮮情報

©Kurosaki Gen

実在する事業者をかたり未納料金を請求する詐欺に注意

大手通信会社グループの事業者を名乗り「1年間電話料金が未払いになっている。支払わなければ法的手続きを取る。守秘義務があるので誰にも話さないように」と電話があった。コンビニで電子マネーを購入するように言われ、店員に聞かれた場合は「自分で使う」と答えるよう指示され、30万円分の電子マネーを購入し番号を教えた。翌日も電話があり、5万円分の電子マネーを購入し番号を教えた。その後も追加で50万円分購入するようにと電話があり、おかしいと思った。（80歳代）

ひとこと助言

◉実在する事業者を名乗り、身に覚えのない未納料金を請求される電話があっても、言われるまま支払ってはなりません。知らない番号や非通知からの電話は「出ない」「話を聞かない」「かけ直さない」ようにしましょう。

◉コンビニなどで電子マネーを購入するように指示し、番号を教えさせる方法はすべて詐欺です。

◉不明な点がある場合は、実在する事業者の正式な問い合わせ窓口を家族や周りの人とともに調べて、問い合わせてください。

◉心配なときは、消費生活センターなどにご相談ください。

困った時はご相談を！
阿久根市消費生活センター（商工観光課内）
☎73-1278

※「見守り新鮮情報」（独立行政法人国民生活センター発行）

みんなのうた

短歌（阿久根短歌会）

子の歌ふシティポップの懐かしき　昭和を想ひ未来に繋ぐ　佐潟俊子

出来ること一つひとつと増えていく　術後のからだに掛け声かけて　飛松保子

幼子の「これはなあに」とはしゃぐ声　えびの高原残りし雪に　谷口久美子

仮校舎建つグラウンドに威勢よし　巨大クレーンは冬を迫り上ぐ　有田イチエ

俳句（阿久根俳句会）　題「福寿草」新年の句

被災地に一年が経ち福寿草　渡辺久治

ノー核のノーベル賞や福寿草　大漉克義

初鏡形見の着物肩にかけ　川畑京子

良きことのありてうれしき初日記　波留淑子

俳句（個人）

文旦の香り仄かに春の風　寺地幸二

薩摩狂句（阿ん文旦会）　題「沢山・じんたっ」

老人爺（おんじょじ）は　口ちゃ沢山（じんたっ）で　動きゃせじ　南　あらかぶ

【唱】腰しょ据（す）えっじ～と　世ん中を見といかた　年賀状終い（がじょじま）　沢山書（じんたっけ）たが　寂（さび）しこっ　春田春男児

【唱】届（とど）かん賀状が　なお　寂（とぜん）なか

【投稿先】〒899-1696 阿久根市鶴見町200番地「阿久根市総務課『広報あくね みんなのうた』」コーナー まで
氏名（ペンネーム可）・住所・電話番号・年齢・性別をご記入の上、郵送またはメールでお寄せください。
【メール】hishokoho@city.akune.kagoshima.jp【電話】0996-73-1208　※紙面の都合上ご紹介できない場合あり。

図書館だより

☎0996-72-0607
9:00 ～ 19:00
休 原則月曜日

お知らせ

＜3月の行事＞

バンビ教室	8日（土）
子育て支援（西目）	11日（火）
ブックスタート	14日（金）
映画会	15日（土）
手作り教室	22日（土）

＜このミステリーがすごい！ 2025国内編・海外編＞

毎年恒例の『このミス』が今年も発表されました。国内編は1位～20位。海外編は1位～10位までを貸出カウンター横の特設コーナーにご用意しました。より多くの方にご利用いただくために、貸出はお一人1回2冊までとなります。

電子図書館 おすすめの一冊

『ルルロロのてあらいだいすき！』
あいはらひろゆき（さく／絵本）

外から帰ってきた仲良しふたごのルルロロ。でもちゃんと手洗いができません。そこで、おばあちゃんはふたりの手にあわの石けんをつけてあげて…。

新刊『桜が散っても』森沢 明夫（著）

趣味の釣りをきっかけに、週末を桑畑村で過ごすようになった忠彦。そこは彼にとって第二の故郷となったが、数年後、自身が勤める建設会社が桑畑村でリゾート開発を進めていることを知り…。

新刊『直木賞を取らなかった男 』新堂 冬樹（著）

一般的とはいえない文学賞でデビューした作家・日向誠。ずっとそばに寄り添ってくれた編集者・磯川とは「小説」という絆で強く結ばれていた。ところが、磯川は小説の世界から遠のくことに…。

新刊『下垣内教授の江戸』青山 文平（著）

幕末に生まれ、昭和初期にかけて日本美術の近代化に努めた男は、獲物を求め下野を旅した話を語り始めた。それは「江戸」という時代の身の上話でもあった―。

新刊『おるすばん』森 洋子（作）

あっちゃんは、初めてひとりでお留守番することになった。すると、しんとした静けさの中、急に台所の料理道具や野菜たちが踊り始めて…。

※うぶごえ・おくやみは、個人情報のため掲載していません。
ご了承ください。

読者のお便り紹介 きいてよ！阿っくんコーナー

新春元旦泳ぎ初め　60回目の節目

１月１日に市水泳協会が主催する新春泳ぎ初め大会が五色ヶ浜海岸で開催されました。

阿久根水泳スポーツ少年団の生徒や市内外の水泳関係者約40人が集まり、新年の初日を浴びながら海に入り、身を清め１年間の健康を祈りました。

毎年恒例となっているこの大会は、今回で60回目の節目を迎え、泳ぎ初め後は市青年の家で祝賀会も行われました。

市水泳協会の濱﨑恭司（きょうじ）会長は「事故もなく60回も続けることができてうれしいです。少ない時もありましたが、少年団の参加もあり賑やかになっているので、これからも活気ある泳ぎ染めにして、市の水泳の盛り上がりにつなげたいです」と話しました。

今月の題字

阿久根

脇本小学校６年

跡上 和桜（なお）さん

わたしの将来の夢は、看護師になることです。そのために、今がんばっていることは、テスト前の勉強です。なぜなら、６年生に上がってから勉強がむずかしくなったからです。これからも、テスト前に勉強し、夢にちょっとでも近づけたらうれしいです。

編集後記

１月29日に、こども第三の居場所阿久根拠点「めぐみの居場所」の内覧会がありました。

完成した施設は「天気が悪くても関係なく軒のあるところで遊びまわる子ども達の姿」をヒントに「部屋と屋外つなぐ場所」を大切にするということを一つのコンセプトとして、台所を中心にして、大きな軒下スペース、土間スペース、フローリングの活動スペースが取り囲むように配置された特徴あるデザインとなっています。建物の形も凸凹していたり、軒が低いところまで張り出している場所があったりと個性的です。子ども達本人に自分の好きな「居場所」を見つけてほしいという思いが込められているそうです。（西村）

今年一回目の取材は、二十歳のつどいでした。

色とりどりの振袖を身にまとい、懐かしい顔と再会し、会場は笑顔であふれかえっていました。私も成人式を迎えて、かれこれ10年以上経ちましたが、当時を振り返ってみると、久々に会った友人やクラスメイトが当時のままだったり劇的に変化していたり、また学生時代の話などをして盛り上がったのを思い出します。

今回参加した人たちも、それぞれが違う想いで成人式を迎えたことと思います。今まで育ててくれた家族への感謝の気持ちを忘れず、これからもそれぞれの形で人生を歩んでいってください。（末廣）

次号（３月号）は、３月14日（金）発行予定です。

人のうごき（１月31日現在）

		前月比
人　口	18,128人	（－１９）
男	8,604人	（　－　６　）
女	9,524人	（－１３）
世帯数	9,625 世帯	（　－　４　）

●出生　7人／●死亡　38人

●転入　40人／●転出　29人

※その他事由による異動増減　＋1

※うぶごえ・おくやみは、個人情報のため掲載していません。ご了承ください。

市役所・番所丘公園に設置したソーラーパネルで発電した電気量などをお知らせします。

1月の電気地産地消量
92,825 kWh 一般家庭 264 世帯が月間で使用する量

CO2 削減量
42.0 t-CO2 スギの木 3,004 本分が年間で吸収する量

お知らせ

阿久根市内の飲食店が漁港に集合！港で食べる朝ごはん祭り
「阿久根おはよう市」を開催します

日時　3月9日(日)　8：00～11：00

場所　北さつま漁業協同組合水揚げ場（北側）

主催　地域おこし協力隊・商工観光課

内容　地場産品を使用した朝食の販売、地場産品を使用した特産品の販売など

問 地域おこし協力隊（まちの灯台阿久根）　☎ 72-3646

出店者情報は阿久根市地域おこし協力隊のインスタグラムにて随時紹介しています
▼

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

有料広告

編集／発行　阿久根市総務課秘書広報係
〒899-1696　阿久根市鶴見町200番地
☎0996-73-1211（代表）

阿久根市ホームページ
URL https://www.city.akune.lg.jp
阿久根市観光サイト
URL http://go-akune.jp